

東京都中小企業の景況

(平成22年3月調査)

平成22年3月25日

産業労働局 商工部

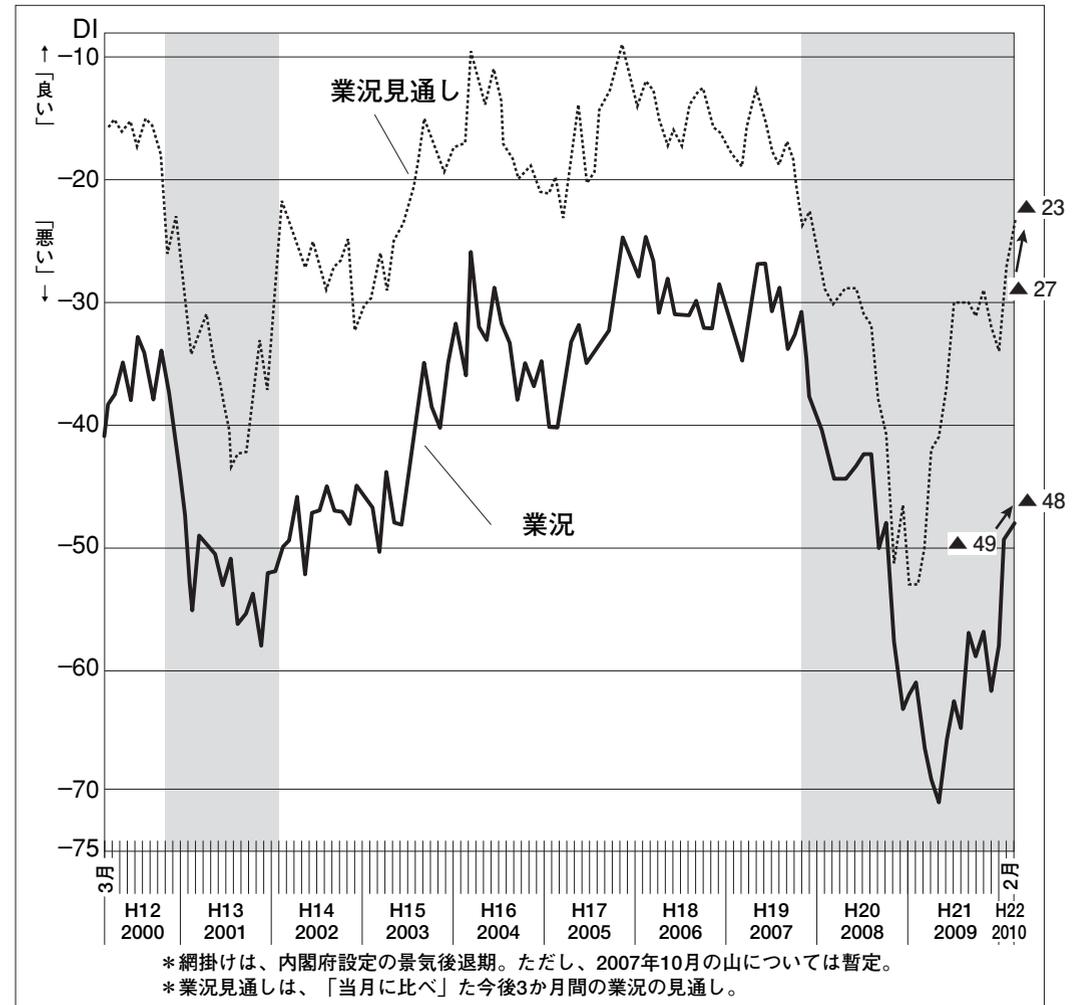
業況：改善傾向続く
見通し：前月に引き続き、着実に改善

《2月の景況》

- ◎ 2月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、当月▲48（前月▲49）とこれまでの改善傾向が続く。今後3か月間（3～5月）の業況見通しDI（当月（2月）に比べて「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）においては、▲23と前月（▲27）より4ポイントと上昇し、前月に引き続き着実に改善した。
- 業種別の業況DIをみると、製造業（▲42→▲42）は横ばい、小休止の模様。前期大きく8ポイントと改善した卸売業（▲54→▲45）は当期も大きく9ポイント改善、3か月連続で計19ポイントと順調に推移。小売業（▲61→▲62）は横ばい。前月大幅に11ポイント改善したサービス業（▲41→▲47）は、6ポイント悪化した。
- 業種区別の業況DIをみると、製造業では「電気機器」（▲32→▲12）が20ポイントと大幅に改善、5か月連続で計53ポイントと好調に推移。卸売業においては「日用雑貨」（▲66→▲50）が16ポイント改善、また「機械器具」（▲44→▲28）と「建築・住宅関連」（▲51→▲43）はともに3か月連続で40ポイント前後改善した。小売業においても「耐久消費財」（▲70→▲57）と「余暇関連」（▲51→▲41）は3か月連続で計30ポイント程度の改善となった。サービス業の「企業関連サービス」（▲38→▲45）と「個人関連サービス」（▲49→▲54）は、前月の大幅改善の反動もあり当月はともに悪化した。
- 前年同月比売上高DI（▲53→▲47）は6ポイント増加、3か月連続で改善した。業種別にみると、製造業（▲43→▲25）は18ポイントと大幅に増加、5か月連続で計48ポイントと順調に改善している。
- 前月比仕入単価DI（6→3）はわずかに低下し、これまでの上昇傾向が小休止となった。業種別にみると、製造業は平成21年4月（▲14）以降の上昇傾向ながら、当月（11→12）は横ばいとなった。
- 業種別の業況見通しDIをみると、前月に引き続きすべての業種で改善。なかでも製造業（▲23→▲21）は3か月連続で安定的に改善しているほか、前月の7ポイント改善した卸売業（▲27→▲18）も当月大きく9ポイント改善した。

業況DI・業況見通しDI（全体）

(季節調整済DI)

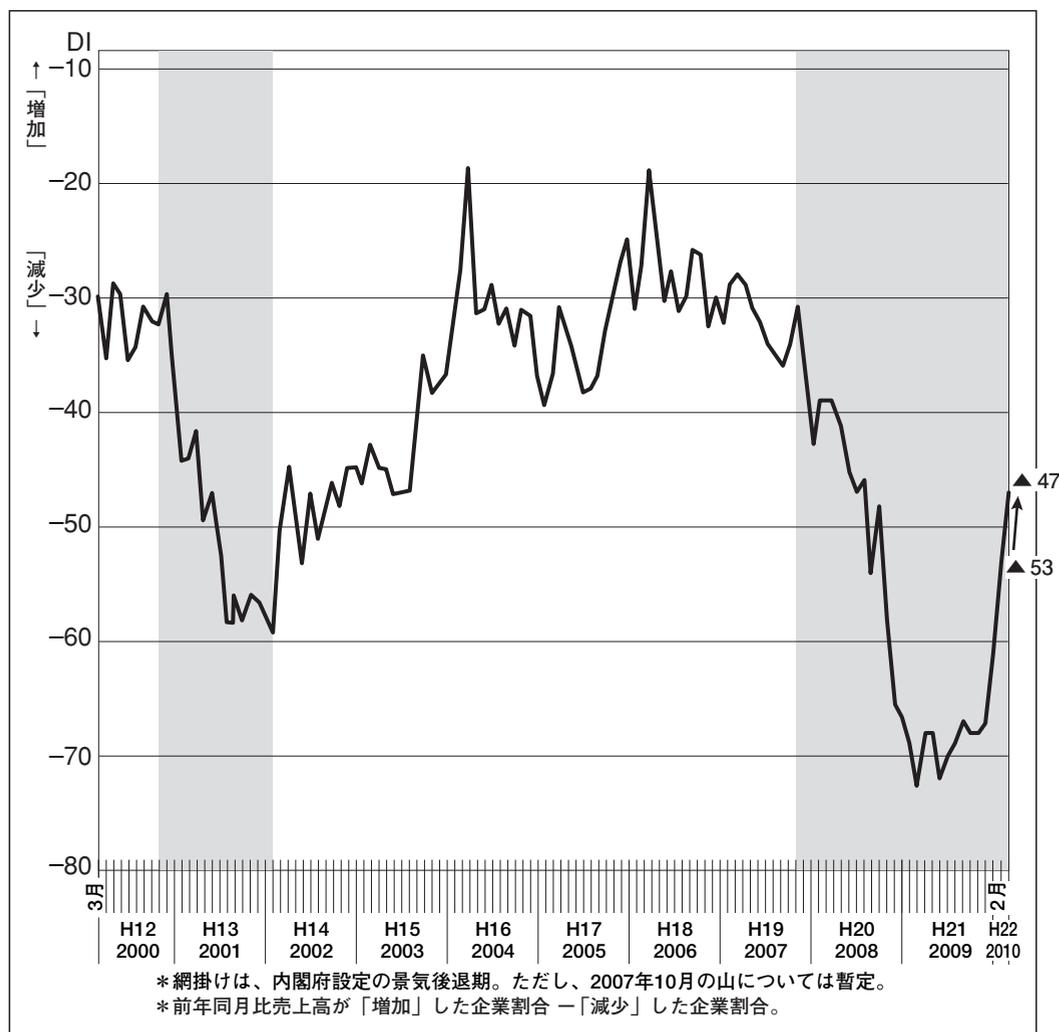


◇ DI (Diffusion Index: 景況判断指数) X: 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数
指数(%)の算出方法は次のとおりである。 Y: 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数
Z: 「悪い」「減少」「低下」等の回答企業数
従って、DIのプラスは景況の好転(売上高の増加等)、
マイナスは景況の悪化(売上高の減少等)を表している。

$$DI = \frac{X - Z}{X + Y + Z} \times 100$$

登録番号 (20) 263

前年同月比売上高DI (全体)



回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	3,875社	1,081社	27.9%	小規模	1,053社	349社	33.1%
製造業	1,125社	317社	28.2%	中小規模	672社	254社	37.8%
卸売業	875社	274社	31.3%	中規模	738社	266社	36.0%
小売業	875社	248社	28.3%	大規模	524社	190社	36.3%
サービス業	1,000社	242社	24.2%	規模不明	888社	22社	2.5%

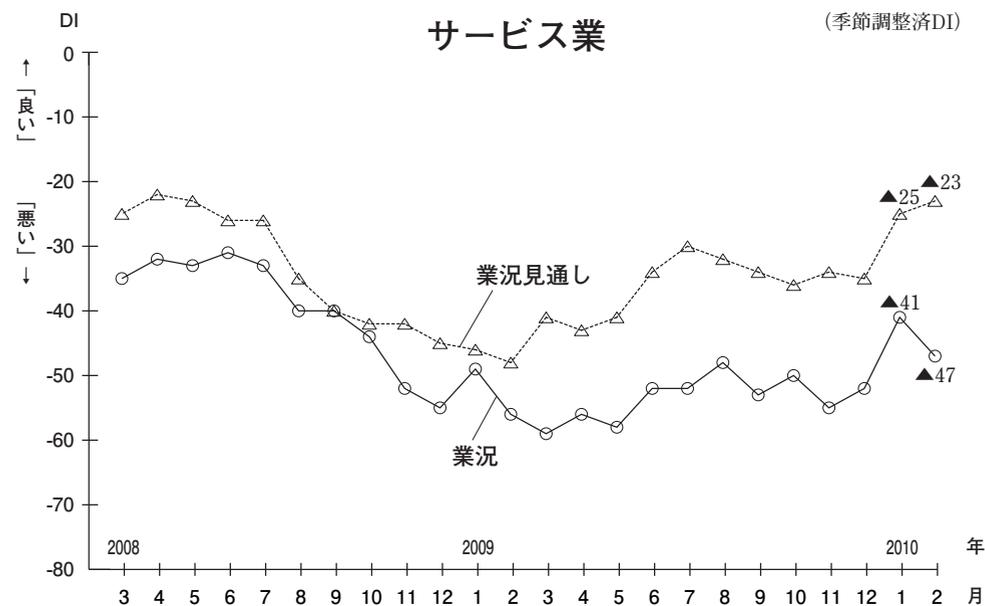
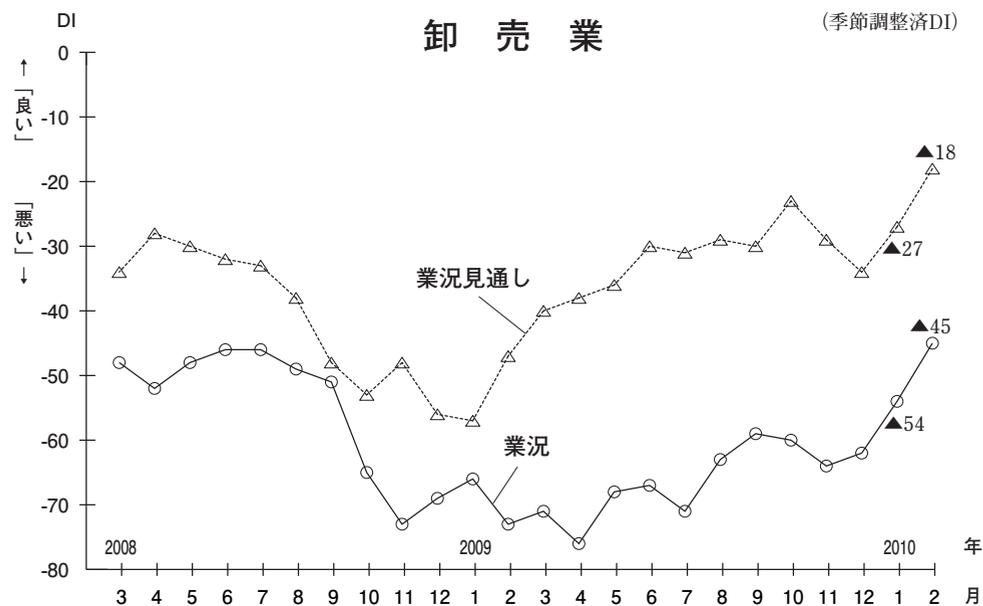
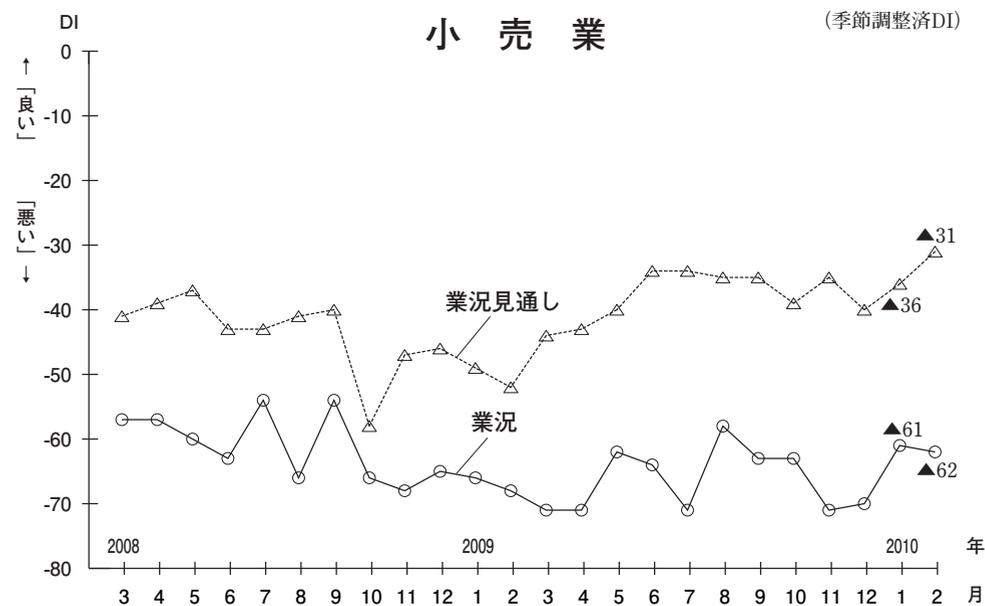
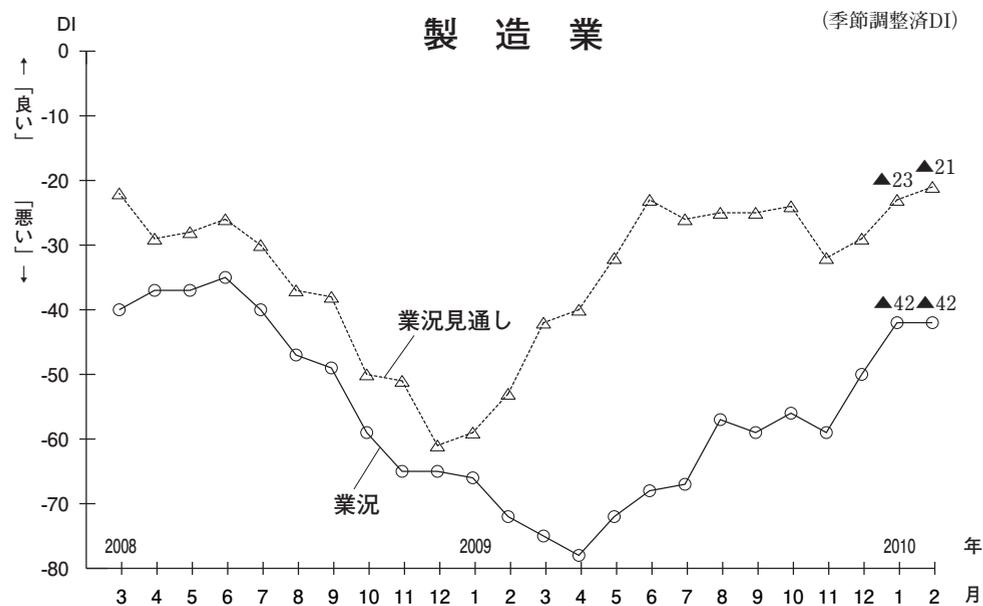
景況指数表 (業種)

・指標値 (%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象企業数	3,875	2月の景況						今後3か月間の見通し		
			業況	売上(前月上月比)高	売上(前年同月比)高	仕入(前月比)単価	販売(前月比)単価	製品商品在庫	業(当月比)況	売(当月上月比)高	売(前年同期比)高
全体			▲48	▲26	▲47	3	▲14	10	▲23	▲16	▲43
製造業			▲42	▲15	▲25	12	▲9	8	▲21	▲15	▲28
	衣料・身の回り品		▲60	▲44	▲54	1	▲13	▲4	▲33	▲35	▲58
	住宅・建物関連		▲38	▲14	▲33	14	▲22	14	▲35	▲24	▲37
	紙・印刷		▲47	▲15	▲51	4	▲12	11	▲40	▲31	▲56
	材料・部品		▲43	▲10	▲4	21	▲2	9	▲10	▲10	▲3
	一般・精密機械等		▲36	2	▲13	9	▲8	9	▲3	3	▲15
	電気機器		▲12	▲9	▲3	18	▲6	10	▲22	▲7	▲11
	その他		▲51	▲18	▲42	32	▲6	13	▲29	▲10	▲42
卸売業			▲45	▲18	▲40	4	▲8	16	▲18	▲10	▲37
	衣料・身の回り品		▲68	▲46	▲61	▲9	▲22	28	▲38	▲7	▲32
	食料品		▲53	▲18	▲69	10	0	14	▲18	▲12	▲61
	日用雑貨		▲50	▲21	▲51	0	▲14	23	▲26	▲15	▲49
	建築・住宅関連		▲43	▲18	▲25	0	▲7	9	▲19	▲13	▲40
	化学・金属材料		▲36	▲3	▲35	15	0	12	0	4	▲13
	機械器具		▲28	▲15	▲12	5	▲10	14	▲16	▲16	▲28
小売業			▲62	▲48	▲68	▲11	▲18	6	▲31	▲23	▲58
	衣料・身の回り品		▲60	▲40	▲69	▲14	▲26	16	▲32	▲21	▲55
	食料品		▲73	▲55	▲78	▲7	▲22	2	▲40	▲34	▲70
	日用雑貨		▲65	▲52	▲68	▲6	▲7	▲5	▲34	▲19	▲58
	耐久消費財		▲57	▲46	▲64	▲16	▲10	11	▲16	▲17	▲50
	余暇関連		▲41	▲42	▲49	▲17	▲11	8	▲22	▲15	▲46
サービス業			▲47	▲27	▲60	—	▲25	—	▲23	▲21	▲54
	企業関連サービス		▲45	▲22	▲57	—	▲26	—	▲23	▲21	▲53
	個人関連サービス		▲54	▲39	▲68	—	▲23	—	▲25	▲22	▲55

(注) 1. 調査項目：業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入単価・販売単価(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)。
 2. 売上高：製造業は生産額。
 3. 販売単価：サービス業は料金単価。

業況DI・業況見通しDI (業種別)



業況 DI・業況見通し DI (業種区分別)

製造業			業況					
対象数	回答数	回答率	2月		今後3か月間見通し(当月比)			
1,125	317	28.2%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 繊維工業							
	2. 織物製衣服							
	3. ニット製衣服							
	4. 下着その他繊維製品							
	5. 革製履物・革製品							
	6. かばん・袋物							
	7. 貴金属・宝石							
	8. 装身具・装飾品							
住宅・建物	9. 家具							
	10. 建具							
	11. 洋食器・刃物・金物							
	12. 建設用金属製品							
紙・印刷	13. 紙製品							
	14. 紙製容器							
	15. 印刷							
	16. 特殊印刷							
	17. 製本・印刷物加工							
	18. 工業用プラスチック							
材料・部品	19. 化学工業							
	20. ゴム製品							
	21. なめし革・革製材料							
	22. 窯業・土石製品							
	23. 鉄鋼・非鉄金属							
	24. 金属素形状製品							
	25. 金属被覆・熱処理							
	26. ボルト・ナット・ねじ							
一般・精密機械等	27. ばね・他金属製品							
	28. 金属加工機器							
	29. 産業用機械							
	30. はん用機械							
	31. 事務・サービス機器							
	32. 金型							
	33. 自動車・同附属品							
	34. 計量・測定・分析器							
電気機器	35. 医療用機器							
	36. 理化学・光学機器							
	37. 発電・送電・配電用機器							
	38. 照明・電子応用装置							
その他	39. 電気計測器							
	40. 情報通信機器							
	41. 電子部品・デバイス							
	42. パン・菓子							
	43. その他の食料品							
	44. がん具・事務用品							
	45. がん具・事務用品							

卸売業			業況					
対象数	回答数	回答率	2月		今後3か月間見通し(当月比)			
875	274	31.3%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男子服							
	2. 婦人・子供服							
	3. 靴・履物							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具・身の回り品							
	6. 野菜・果実							
	7. 食肉							
	8. 生鮮魚介							
	9. 酒類・飲料							
	10. 茶・のり・乾物							
	11. 菓子・パン類							
食料品	12. 紙・紙製品							
	13. 陶磁・ガラス・什器							
	14. スポーツ・玩具							
	15. 文房具・事務用品							
	16. 医薬品							
日用雑貨	17. 化粧品							
	18. セメント・板ガラス							
	19. 管工機材							
	20. 木材・他建築材料							
	21. 家具・建具							
	22. 室内装飾品							
	23. 電設資材							
	24. 塗料							
	25. ゴム・プラスチック							
	26. その他化学製品							
建築・住宅関連	27. 鉄鋼・石油・鉱物							
	28. 非鉄金属							
	29. ボルト・ナット・ねじ							
	30. 金属加工・事務機器							
	31. 建設・他一般機器							
	32. 自動車・自動車部品							
	33. 精密・医療用機器							
	34. 家庭用電気機器							
化学・金属材料	35. その他電気機器							
機械器具								

◇このグラフのみかた

各項目とも0を基準に左右のグラフの長さで業況の「良い」・「悪い」の程度を判断する。ただし◎印は全回答が「普通」ないしは「ほぼ同様」、○印は「良い」、「悪い」の回答数が同数を示す。

(注) 平成20年1月調査より、事業所数の変化や日本標準産業分類の改訂案などを参考に、細分類の表記を変更(統合や分類含む)したものがありますのでご了承ください。

小売業			業況					
対象数	回答数	回答率	2月		今後3か月間見通し(当月比)			
875	248	28.3%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具							
	2. 男子服							
	3. 婦人服							
	4. 子供服							
	5. 靴・履物							
	6. かばん・袋物							
	7. 雑貨・身の回り品							
	8. 時計・眼鏡							
	9. ジュエリー製品							
	10. 各種食料品							
	11. 酒							
食料品	12. 食肉							
	13. 鮮魚							
	14. 野菜・果実							
	15. 菓子・パン							
	16. 米穀類							
	17. コンビニエンスストア							
	18. 茶・のり・乾物							
	19. 料理品							
日用雑貨	20. 家庭用品・他什器							
	21. 医薬品							
	22. 化粧品							
	23. 燃料							
	24. 文房具・事務用品							
耐久消費財	25. ディスカウントストア							
	26. 自動車							
	27. 自転車							
	28. 家具・インテリア							
	29. 家電・電気機器							
	30. 書籍・雑誌							
	31. スポーツ用品							
	32. がん具・娯楽用品							
余暇関連	33. 楽器・CD							
	34. 花・植木							
	35. 中古品							

サービス業			業況					
対象数	回答数	回答率	2月		今後3か月間見通し(当月比)			
1,000	242	24.2%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
企業関連	1. ソフトウェア業							
	2. 情報処理サービス業							
	3. 情報提供サービス業							
	4. 映像・音声制作業							
	5. 出版業							
	6. その他情報通信業							
	7. 道路貨物運送業							
	8. 倉庫業							
	9. 道路付帯サービス業							
	10. 駐車場業							
	11. 医療付帯サービス業							
	12. 建築設計業							
	13. その他土木建築サービス業							
	14. デザイン業							
	15. 機械設計業							
	サービス	16. その他専門サービス業						
17. リネンサプライ業								
18. 廃棄物処理業								
19. 機械修理業								
20. 産業用機器賃貸業								
21. 事務用機器他賃貸業								
22. 広告・ディスプレイ業								
23. 計量・非破壊検査業								
24. 建物サービス業								
25. 職業紹介業								
26. 警備業								
個人関連サービス	27. 労働者派遣業							
	28. 不動産取引業							
	29. 不動産賃貸・管理業							
	30. 一般飲食店							
	31. 酒場・ビアホール							
	32. 宿泊業							
	33. 普通洗濯業							
	34. 理容業							
	35. 美容業							
	36. 旅行業							
	37. 冠婚葬祭・生活関連							
	38. スポーツ施設提供業							
	39. 遊技場							
	40. 自動車整備業							

《 規模別景況 》

- 2月の業況DIを規模別にみると、「小規模」(▲52→▲56)は4ポイント悪化、「中小規模」(▲52→▲53)は横ばい、「中規模」(▲49→▲47)はわずかながら上向き3か月連続で改善、大規模(▲39→▲30)も前期と同じ9ポイント改善し3か月連続となった。規模による差が開きつつある。
- 前年同月比売上高DIを規模別にみると、「中小規模」(▲53→▲57)のみ悪化。小規模(▲58→▲52)と中規模(▲54→▲45)はそれぞれ大きく改善したほか、「大規模」(▲41→▲22)は大幅に19ポイント増加し、4か月連続で計42ポイントと順調に推移している。
- 当月と比べた今後3か月間(3～5月)の業況見通しDIを規模別にみると、「小規模」(▲34→▲31)は当月3ポイントとわずかながら3か月連続で改善した。また、「中小規模」(▲23→▲18)、「中規模」(▲26→▲20)、「大規模」(▲35→▲23)はともに大きく改善し、前月に引き続きすべての業種で改善した。

景況指数表 (規模)

・指標値(%)：DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

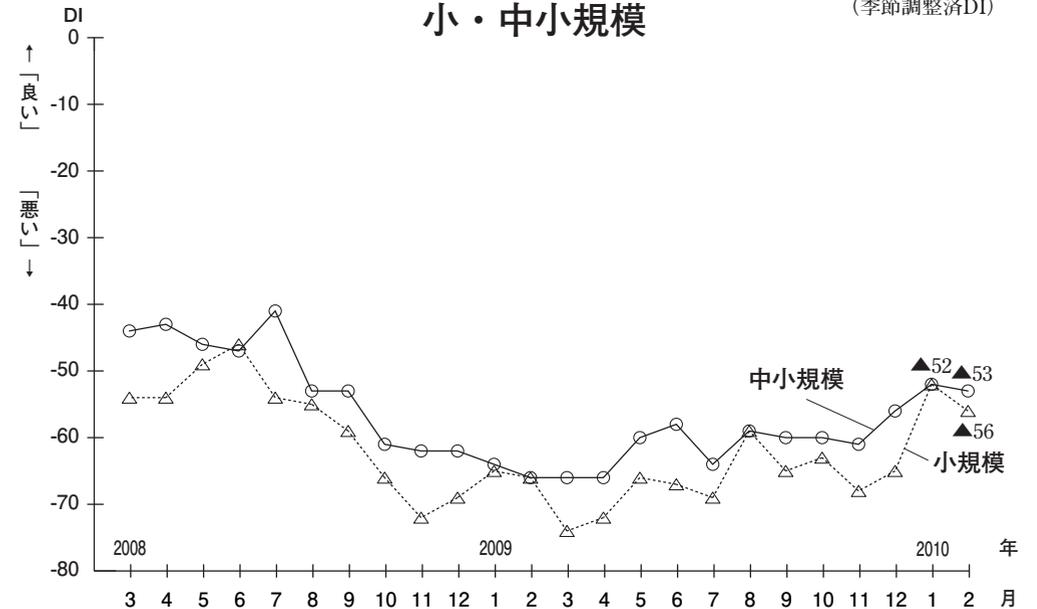
調査規模	調査対象企業数	3,875	2月の景況						今後3か月間の見通し		
	回答企業数	1,081	業況	売上高(前月上月比)	売上高(前年同月比)	仕入単価(前月単価)	販売単価(前月単価)	製品商品在庫	業況(当月)	売上高(当月上月比)	売上高(前年同月比)
	回答率	27.9%	▲48	▲26	▲47	3	▲14	10	▲23	▲16	▲43
規模	小規模		▲56	▲31	▲52	0	▲15	3	▲31	▲28	▲53
	中小規模		▲53	▲32	▲57	2	▲16	6	▲18	▲15	▲46
	中規模		▲47	▲29	▲45	6	▲15	17	▲20	▲9	▲41
	大規模		▲30	▲4	▲22	4	▲10	15	▲13	▲6	▲20

(注) 規模 小規模：1～9人(製造業、卸売業、サービス業)、1～2人(小売業)
 中小規模：10～19人(製造業、卸売業、サービス業)、3～4人(小売業)
 中規模：20～49人(製造業、卸売業、サービス業)、5～19人(小売業)
 大規模：50人以上(製造業、卸売業、サービス業)、20人以上(小売業)

業況DI (規模別)

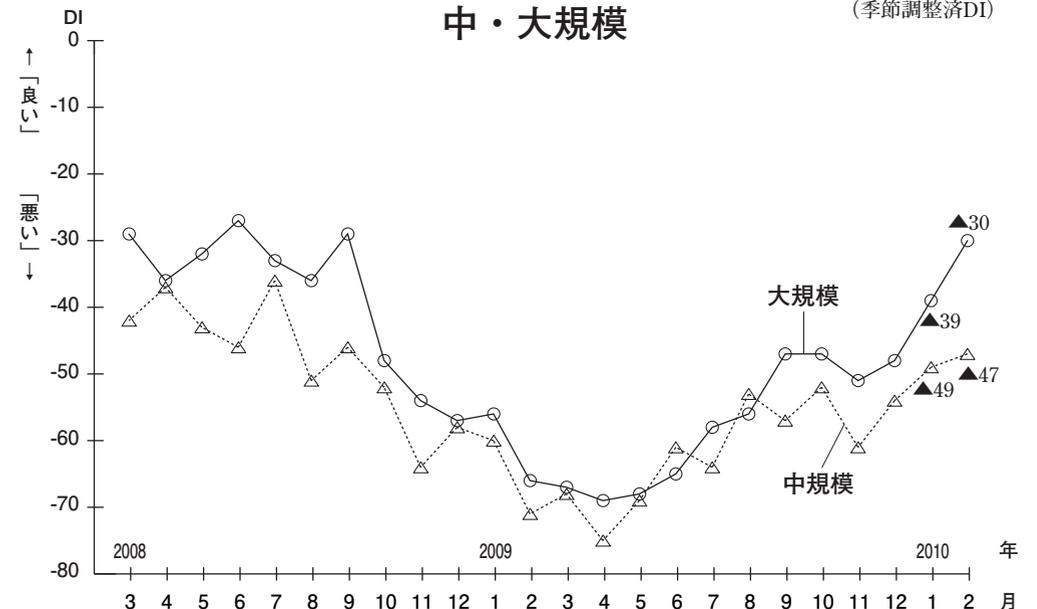
小・中小規模

(季節調整済DI)



中・大規模

(季節調整済DI)



【自由意見の内容】

景況調査票の自由意見欄に260通の貴重な意見を頂きました。ご多忙中にもかかわらずご記入頂き、感謝申し上げます。

分類項目	意見数
① 経済・景気動向	100
② 業界や地域の動向	59
③ 海外・国際化	8
④ 人材の確保・育成	19
⑤ 顧客・得意先	20
⑥ 原材料価格	15
⑦ 金融・資金繰り	34
⑧ 売上・収益	76
⑨ その他	13
計（複数回答）	260

以下に、それぞれの特徴的な意見を掲載させていただきます。

なお、なるべく多くのご意見を掲載するため、若干の加筆・修整を加えさせていただきました。

① 経済・景気動向について

- 当社は設備投資が上向かないので業績が良くならない。設備投資の先行指標と言われる内閣府発表の機械受注統計を注視している。（鉄鋼業）
- デフレ傾向がいつまで続くのか。我々内需産業、最終消費材メーカーにとって、低価格競争は限界に来ている。（その他の食料品製造業）
- 前年より販売減少し、また二番底が危惧されているので当面は足踏みを余儀なくされる可能性が強い。こうした状況を見つめ、色々と再構築を考え企業体力を強化中。（セメント・板ガラス製造業）

- 今、現在日本の経済は構造的な不況で根本的に改革が必要で非常に経営自体が困難になっております。私共一同あらゆる対処を考え日々努力をしておりますが、増々売上、収益を上げるまでには到達できません。

（非鉄金属卸売業）

- デフレ傾向が一段と強くなり消費マインドも低下している。この状況だと廃業も考えないといけない。資金繰りもきびしい。今の業態から店を貸して、大家としてやっていくしかなくなってしまう。（かばん・袋物小売業）
- 今迄景気が悪くてもあまり売上、客の動向は気になりませんでした。今年に入ってから年賀の品にしても、全体に低下している事を感じます。当店は最近特に会社が不景気なので使ってくれなくなった気がする。（洋菓子小売店）
- 春節による良い傾向があったが、それが終わってから、どうなるかが関心事だ。（がん具小売業）
- 不景気による消費の減少が著しく、お金の流通が全く感じられなくなった。今後の動向が全く見えない。（そば店）

② 業界や地域の動向について

- 見通しに非常に暗いものを感じる。電子ブックの登場により、さらなる打撃が確実に加わる予感がする。相当数の企業が廃業に追い込まれるのではないだろうか？（印刷業）
- 印刷自体もパッとしません。環境が悪い。紙問屋も消えるし、仕入れる材料がスムーズに入らなくなっている。（印刷業）
- 金型業界は厳しい状況が続いています。価格の影響で採算割れの金型受注があるようです。そんな中で当社の射出ノズルは金型全般に使われ、材料のムダな使用なく比較的好評のうちに売上を復活させています。（精密機械部品製造業）
- 小中学校の家庭科でミシンを踏む作品作りがあった頃は、教材として布地が売れていましたが、なくなって8～9年たちます。今日の若い人は出来上がりの既製品のみに目が行き、時間をかけて趣味を生かす若者が年々いなくなりました。繊維業界あげてとりくむ課題の一つかと思われ。 （かばん・袋物素材卸売業）
- 住宅（個人）着工数の激減。公共工事の減少等々、先行き景気回復は見通し不可。（電設資材卸売業）

- 大きい会社程、昨今の景気の影響を大きく受けている。その為、大きい会社が今迄相手にしていなかった様な小さな仕事にまで入り込んでくる様になった。大きい会社との価格競争にどこまで戦えるか、正直不安である。
(その他化学製品卸売業)
- 同業者の廃業が続き、洋傘の小売店も問屋もフレームの製造業者も驚く程少なくなった。
(洋品雑貨・身の回り品小売業)
- この仕事を始めて40年近くなるが、これ程ひどく悪い状況は経験した事がない。
(眼鏡小売店)
- 美術、宝飾品に対する消費意欲は、ほとんど感じられない。(貴金属・古美術品店)
- 相変わらず売上不振。この不況いつ迄続くのでしょうかね。先月も仲間が2店閉店、淋しい限りです。
(各種食料品小売業)
- 大田区の中小企業の不振で商品の売上が良くない。週の勤務が3日～4日で賃金カットがあたりまえの不振の中で商売は厳しい状態がつづく。又、大手の価格についていけなくなってきた。
(医薬品小売業)
- 電子入札になってからとんでもない数字の応札が増えている。発注側の担当者の苦勞が見えて来る。
(映像・音声制作業)
- 自動関連等製造業設備投資は依然として低迷している為、売上の減少が続いている。雇用安定助成金を受けているが、資金繰りも厳しくなっている。今の景気のままだとこれから先が心配である。
(機械設計業)

③ 海外・国際化について

- 国内市場には海外商品があふれデフレ化。海外生産には、リスク及び人材不足で困難という現状に苦しんでおります。
(ニット製衣服製造業)
- アクセサリー雑貨は中国生産になってしまっ、安く出来るので国内生産しなくなっている、仕事が無くなった。
(アクセサリー製造業)
- インターネットでの仕入、販売が増加している。海外からの仕入、販売もまだ少ないが、できるようになってきた。
(総合衣料小売店)
- 海外・国際化の関係で中国、台湾の影響があり、見通しが悪い。(スポーツ用品店)

④ 人材の確保・育成について

- 人材の確保を目的に3名を安定所より採用した。
(プリント回路製造業)

- 退職者が発生したため、正社員の求人を実施した。人材の確保は出来たものの、今後の課題として新入社員の育成を実施し、社内研修の後、一定レベルまで上げる。
(漬物卸売業)
- 市況この様な状況下、当社も高齢化が進み新しい血がなかなか入らず、将来を見据えた場合なかなか厳しいものがある。今こそ人材の確保を急がねばならないと考えております。
(プラスチック容器卸売業)
- 当方、パンを製造販売をしています。パートを募集してもなかなか来ない。本当に職がないのだろうか。
(パン製造小売業)
- 新規業務の掘りおこしや、既存業務の中でも、余り競合他社がない分野に人材を集中させる為にも、人に対する投資を積極的に行いたい。
(情報処理サービス業)
- 人手が充足、あるいは仕事が不足している。学生の就職先がないとの報道ですが、なかなか人材が集まりません。
(介護サービス)
- 若年の人達の労働意識の低さと勤勉さの不足を耳にしますし感じます。
(その他土木建築サービス業)
- 少子・高齢化の影響を受け実務の実行力の低下が甚しい。多方面に向け人材の確保・育成が急務である。
(機械設計業)
- 1月～2月は退社する者が出て、求人募集にふりまわされました。ただ現在の状況は比較的人材の確保がし易く、我々小企業には助かります。人材の育成と収益の確保は大変です。
(冠婚葬祭業)

⑤ 顧客・得意先について

- 顧客の入れ替りが最近激しいです。理由として廃業に伴う新規依頼、逆に競合会社による値引きで仕事を突然打ち切りになる例など、今までにない厳しい状況です。
(革製履物・革製品製造業)
- 40年位前から、この仕事をしているが、40年前より売上額が下がった。皮革関連製造業が得意先だが、海外生産が増大して、中国の件費が上ったので、戻りつつあると言う話は聞くが、国内生産に戻したくても職人が高齢化等の廃業している人が多いのでむずかしいらしい。
(抜型製造業)
- 得意先の約70% (売上比率) は自動車関係です。一昨年11月より急激に需要が減少。昨年中頃より増加し大体例年の80%位迄もどした。
(リベット製造業)

- 当社は80%百貨店に販売をしている関係から、各地での百貨店の閉店に将来の不安を強く感じています。(かばん・袋物卸売業)
- 同業者ほど悪化しています。1月-2月は前年度の同月より、▲16%です。50年商売して初めてです。(茶・のり・乾物卸売業)
- 米まで大店法により個人消費が大型店に流れている。業務用米を、知り合い(田舎の親戚)から宅配するなどの影響で、東京の米屋は四苦八苦している。(米穀店)

⑥ 原材料価格について

- ボイラー用、特A重油の乱高下には困る。(繊維工業)
- アクリル板の加工をしているが、仕入価格が不安定になって来た。見積りを取る都度違う価格が出ることもある。暫く前に得意先に対して見積もった製品が受注になっても採算がどの程度合うのか分からなくなった。(工業用プラスチック製造業)
- 船運賃のUPで原材料コストは上昇気味だが、国内相場は一向に上がらず停滞弱含みで益々厳しくなっている。(木材卸売業)
- 米の仕入が少しづつ高くなっている。特に割安の米、二等米や無銘柄米は品不足により銘柄米とほとんど価格が接近してきており、割安の米の仕入に苦労している。(各種食料品小売業)

⑦ 金融・資金繰りについて

- 同業者では受注減少のため、週3日休む所が多く、社員の給与支払いができない。一番の問題は資金繰りだと思います。借入しても返済できない状況です。(精密機器総合部品加工業)
- 給与減のため、顧客の買い控えが強く、本当に必要でないものは買わない姿勢が浸透している。そのため、売上が上がらず、銀行の見方がすべて消極的で、融資の話に対し否定的すぎる。(健康補助食品卸売業)
- 雪と寒さの為、売上上昇。(自動車・自動車部品卸売業)
- 単価を下げてでも売上が上がらず前年割れが毎月続いています。業界全体が不調の様です。何とか景気良くなっただきたい。(仏具店)
- 生活者(消費者)の給料が低くなるばかりなので節約指向が強く感じられる。消耗品等の特売時にまとめ買いするのが特に目立つ。(ペットショップ)

⑧ 売上・収益について

- 貴金属業界総在庫量は、向う30年分位あるのではとされている中、ユーザーの趣向は高級品離れしてしまった為、売上が上らず、換金売もままならない状況です。(貴金属・宝石製造業)
- 毎年、今の時期が売上の落ちる時となっている。但し、秋の需要期に向けての準備にも怠りなく配慮する時期でもある。(装身具・装飾品製造業)
- 相変わらずの不況で我々零細企業まで仕事がまわらない。資金力のある会社に格安値で仕事をもっていかれ、とてもたちうち出来ない。3割、4割引はあたりまえという感じでお手上げ状態です。(建具製造業)
- 昨年度は一昨年度比48%であり、本年度は昨年度比12%(1月及び2月実績)増となったが、いまだ回復したとは言えない。今後3カ月の予想はやや増量をみているが、あくまで期待を込めての数字であり、本格的な回復を実感できるのは来年以降と覚悟している。(金属加工機械製造業)
- 業況は深刻だ。小売店での現状は09年冬物の発注は5月頃。実販売期は10月以降。その時季頃より大型店の値引、12月初めにはメーカー問屋の特価、値引品が大量に出て売上・利益の確保は出来ない。今も続いている。(靴・履物小売業)
- 売上、収益共に上昇しないため、製造販売小売(パン)として苦慮している。(パン製造小売業)
- このお客様には、この品をと、いつもイメージして仕入れをしていますが、お客様の来店数が減り、売上に結びつかなくなった。(化粧品店)
- 主要商品の航空会社株主優待券が消滅してしまい、収益は創業以来最悪を見込む。(ディスカウントストア)
- 新規顧客の開拓の促進を図っているが、現顧客の高齢化による使用量の減少が売上減に連動している。今後とも努力はしますが、極端な売上減、収益減にならないと予測しています。(リネンサプライ業)

⑨ その他

- 今迄、1階~3階を使って営業して来ましたが、これだけ売上が落ちて来ると、1、2階をテナントに貸して、3階に移動して固定客だけに電話、FAX、mailで商売しようと考えています。(男子服卸売業)